

7. 景観計画 近景

横浜郵船ビルの意匠性を尊重した低層デザインと海岸通りの賑わいの形成

■海岸通りを歩く歩行者に向けた連続的な空間形成

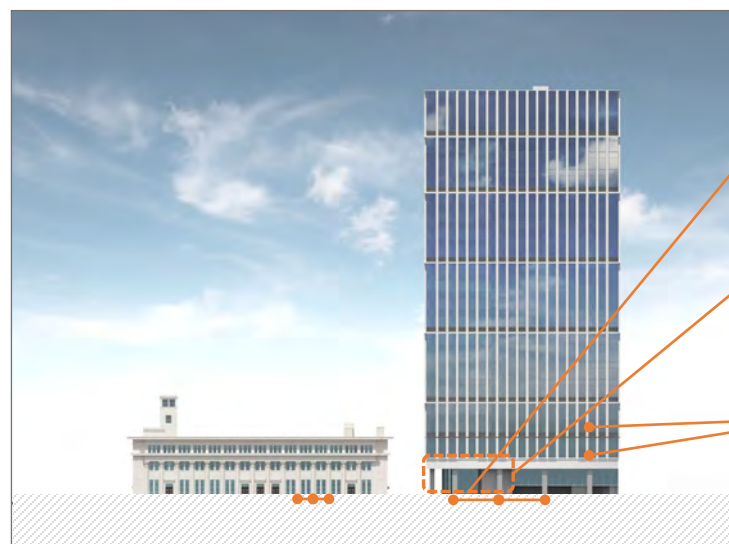
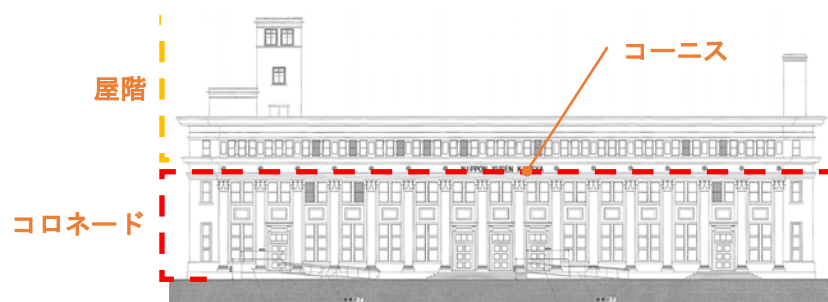
- ・ 印象的な2層分の列柱や水平ラインを持つ横浜郵船ビルの意匠上の特徴を尊重した低層デザイン
- ・ ガラス張りのエントランスや2層分のピロティ空間による街に開かれた空間の創出
- ・ 海岸通りに面した2Fは博物館を設け、1Fの博物館エントランスと共に、落ち着いた賑わいを創出
- ・ 歴史的建造物を見通せる1, 2階の2層分のピロティを設け、海岸通りを歩く歩行者へ向けたゆとりある空間を創出



○横浜郵船ビルの特徴

(近代遺跡調査報告書 商業・金融業より)

- ・ 古典主義様式の大作
- ・ 16本のコリント式の大オーダーによる柱列 (コロネード)
- ・ 1階の高い階高を生かした2階までの大オーダー
- ・ 柱頭の上部にコーニスを設け、3階を屋階 (おukai) ※として表現 ※ 屋根裏に設けた部屋



歴史的建造物の列柱デザインを尊重し、倍数間隔の**列柱デザイン**とし、街並みの連続性を創出

2層分の**ピロティ空間**を設けることで、**歴史的建造物の角面への視線の抜け**をつくり、歴史的街並みを演出

歴史的建造物の特徴である**列柱上部のコーニスライン**や**建物上部のライン**を連続させ調和のとれた街並みを演出。コーニスとコロネードの連続性をつくることで、歴史的建造物が演出するヒューマンスケールな歩行者空間を継承。



歴史的建造物と関係づけられた表情線により街並みの連続性を創出

2Fの博物館は**ガラス張り**とし、海岸通りへの**圧迫感軽減**と共に、**落ち着きある賑わい**を演出

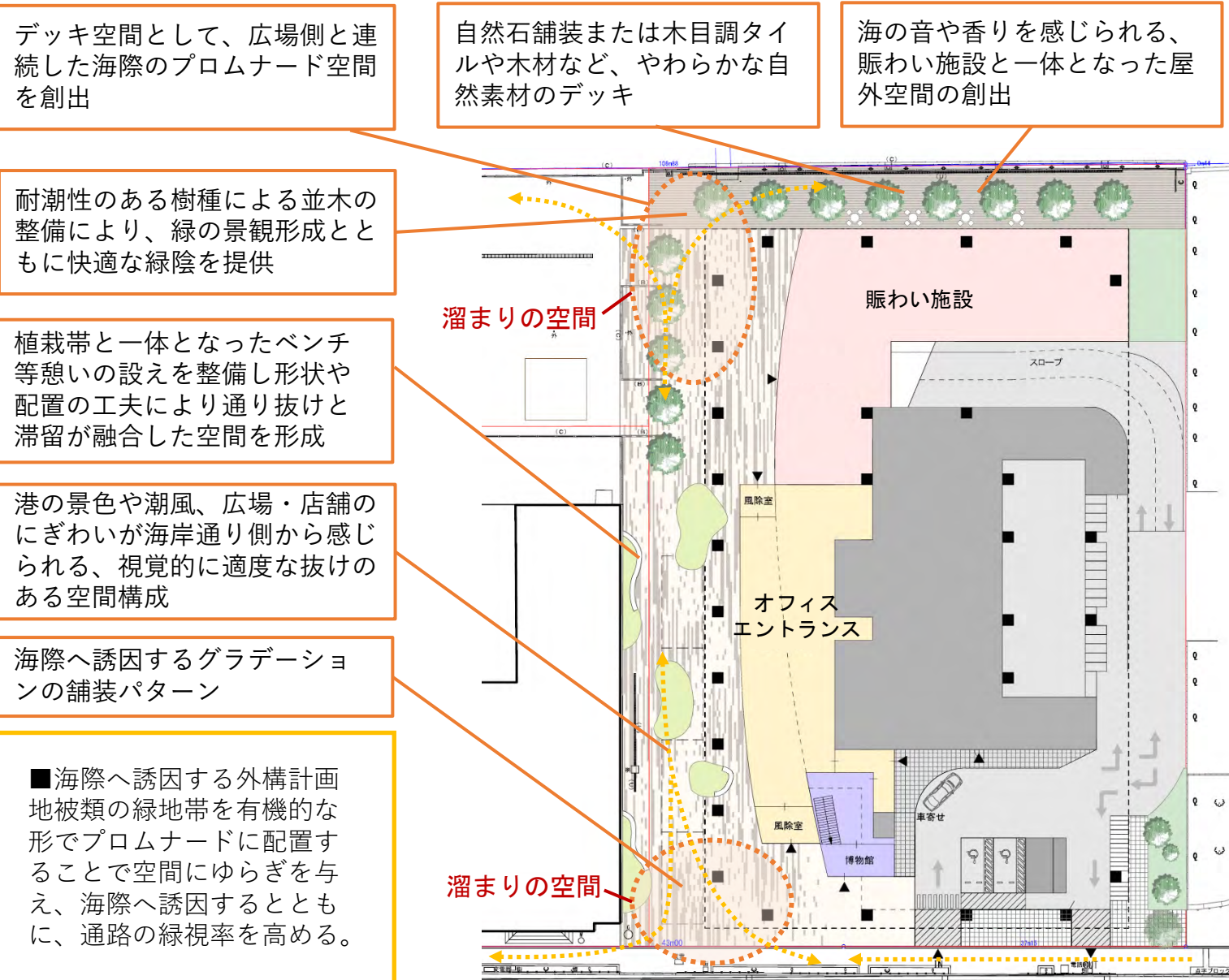
県警前空地と連続する形で空地を確保し、緑地も同様に連続させることで、豊かな歩行者空間を創出

8. 低層部および外構の計画

海岸通りと海側をつなぐ景観の形成

■海岸通りを歩く歩行者に向けた連続的な空間形成

- 海岸通りから人を引き込む溜まり空間をエントランス前に確保し、プロムナードの奥へと人を引き込む計画
- 海岸通りにはオフィス・博物館のエントランスが面し、平日だけでなく休日も人の流れを創出
- 海側歩行者空間との接続部にも溜まりの空間や赤レンガ倉庫等の港の景観への視線の広がり的形成



プロムナードと水際線プロムナードの交点に溜まり空間を形成



プロムナードへと人を引き込む海岸通り側の溜まり空間

※本資料は当地区の景観形成について横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容は今後の関係機関協議により変更する場合がございます。
※パースやブロックプランはイメージであり、確定した内容ではありません。設計は計画段階であり、建物の外観、ブロックプラン、形状については、一つのイメージとして示したものととなります。